Free Location Office 「いつでも、どこでも、自由自在オフィス」						
	<u>クライアントソフトウェア セットアッフ バージョン 4.0</u>	<u> パマニ</u>	<u>٦٣</u> 1	<u>لــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>		
			更新	2020 年 04 月 01 日		
【1】	クライアントソフトウェアのインストールと設定			P. 2		
	(1)ハードディスク インストール	Ρ.	2			
	(2)USB メモリ インストール	Ρ.	13			
[2]	接続メッセージ・エラー			P. 18		
【3】	ユーザー認証に必要なパスワードの変更方法			P. 19		
【4】	共有接続の設定方法			P. 20		
[5]	リモートデスクトップ接続の設定方法(Windows XP)			P. 21		
[6]	リモートデスクトップ接続の設定方法(Windows 7)			P. 22		
【7】	リモートされる側のスクリーンセーバー、電源設定の設定			P. 23		
[8]	ネットワークアダプタのバインドの順序を低くする方法			P. 23		
[9]	使用ポート番号			P. 23		
【10】	ハードディスク インストールのアンインストール			P. 24		

- 【1】 クライアントソフトウェアのインストールと設定
- (1) ハードディスク インストール
- ① クライアントソフトウェアのダウンロードと実行
- ② インストールの開始





[次へ]を押下します。

インストーノ	レするソフトウェアの選択
8	oftEther VPN Client
	OILEUTEL VEN クフィアノビを続くイーンヤ(官理ツールのみ)
[SoftEt	her VPN Client」とは
	VPN クライアントとなる PC にインストールします。センター拠点で稼働している VPN Server に対 のコンピュータを VPN 接続するためにインストールしてくだざい、管理ツールもインストールされます

[SoftEther VPN Client]を選択します。

[次へ]を押下します。

使用許諾契約	書を注意してお読みください。		
SoftEther VF source. You General Pub	N Server, Client and Bri can redistribute them a lic License version 2 as	idge are free software, and released as open- ind/or modify them under the terms of the GNI published by the Free Software Foundation.	د] ر
Copyright (a Copyright (a Copyright (a All Rights Re) Daiyuu Nobori.) SoftEther Project at Ui) SoftEther Corporation served.	niversity of Tsukuba, Japan. 1.	
http://www.s	oftether.org/		
☑ 使用許諾	契約書に同意します(A)		

[][使用許諾契約書に同意します]を[/]します。

[次へ]を押下します。

Q	○ SoftEther VPN ソフトウェアは非常に強力な通信機能を有しているため、ご利用にあたっては下記の重要事説明書をよくお読みください。	項
	SoftEther VPN に関する重要事項説明書	
	本ソフトウェアの VPN 通信機能はかつてないほど極めて強力であり、正しい使い方によりお客様は大きな利便性と利益を手にすることができます。しかし、誤った使い方を行うと不利益が発生する危険もあります。そのような危険を避けるため、本ソフトウェアのご使用に際してお客様が事前に説明を受けるべき事項を以下に記載いたします。この内容は大変重要ですから、十分理解されるようお願いいたします。また、ダイナミック DNS、NAT トラパーサルまたは VPN Azure 機能をご使用いただく前には下記の 3.5 節の注意書きをよくお読みください。この 3 つの機能はインターネット経由で提供される 無償の無保証の学術実験サービスであり、障害の発生が許されないような業務において使用すること	

[次へ]を押下します。

Softi	Ether VPN セットアップ ウィザード (バージョン 4.25.9656)	
٦	ンストール先ディレクトリ	
8	「SoftEther VPN Client」のインストール先ディレクトリを指定してください。	
	O:¥Program Files¥SoftEther VPN Client	
	◎ インストール先を変更(S)	
	□ 上級者のためのインストールオプション(A)	
		i I
_	次へ(N) キャンセル	J

[次へ]を押下します。

121 121



[次へ]を押下します。





[完了]を押下します。

③ [SoftEther VPN クライアント接続]の起動

デスクトップの[I]-[SoftEther VPN クライアント接続]を選択しても起動できます。

④ 仮想 LAN カードの作成

 SoftEther VPN クライアント接続 接続(C) 編集(E) 表示(V) 仮視 	マネージャ	トカード(S) ツール(T)	ヘルプ(H)		
接続(E) 編集(E) 表示(Y) 仮想 接続設定名	LAN 人义— 状態	►刀ート(5) ツール(1) 接続先 VPN サーバー		仮想 HUB 名	仮想 LAN カード名
仮想 LAN カード名		状態	MAC 7FUZ		バージョン
SoftEther VPN クライアント接続マ	ネージャ	→ 未接続		E SoftEt	ner VPN Client Build 9656

[仮想 LAN]メニュー - [新規仮想 LAN カードの作成]を選択します。

新しい仮想 LAN カードの作成	×
新しい仮想 LAN カードをシステムに追加します。 仮想 LAN カードには英数字 31 文字以内の名前を付けることができます。	
仮想 LAN カードの名前(N): VPN	
	-1
OK ++>\U.	

[VPN]と入力(推奨値)します。 [OK]を押下します。

新しい VPN 用仮想 LAN カードを作成し、Windows に追加しています。
この処理には数秒から数十秒かかる場合があります。 しばらくお待ちください
(仮想 LAN カードの作成中は他の操作はしないでください。)

接続設定名	状態	接続先 VPN サーバー	仮想 HUB 名	ム 仮想 LAN カード名
新しい接続設定の作成				
仮想 LAN カード名		状態	MAC PFLZ	バージョン
VPN Client Adapter - VPN		有効 (使用可能)	00-AC-E8-EB-CD-D3	4.19.0.9594

仮想 LAN カード名に[VPN Client Adapter - VPN]が表示されます。

※注意事項

「DHCP を使用しない」でお申し込みいただいた場合は、設定終了後、別途 Windows の「インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ」で IP アドレスの設定が必要です。

8/24

Kozukata Networks Corporation

⑤ 接続設定の作成

中华的中夕	(牛曲)	(生) (二)	(后相 山口 夕	(5相」ANI カードク
景続設定・石 ■ 新しい投続設定の作成	仪服	技続元 VPN サーバー	版想 HUB 咨	仮想 LAN ルート名
仮想 LAN カード名		状態	MAC アドレス	バージョン
VPN Client Adapter - VPN		有効 (使用可能)	00-AC-E8-EB-CD-D3	4.19.0.9594

[接続]メニュー - [接続設定の新規作成]を選択します。

新しい接続設定のプロパティ	×
接続設定名(I): 新しい接続 接続先 VPN Server の指定(B): 接続したい VPN Server が動作しているコンピュータのホスト 名または、IP アドレス、ポート番号、および仮想 HUB 名を指	VPN Client Adapter - VPN
定してください。 ホスト名(出): ボート番号(P): 443	ユーザー認証(A): VPN Server (ご接続する際に必要なユーザー認証情報を設定してく ださい。 認証の種類(<u>6</u>): 標準パスワード認証 ユーザー名(<u>U</u>):
EE の設定を使用(E) プロキシの種類(M): ● 直接 TCP/IP 接続 (プロキシを使わない) (D) ● HTTP プロキシサーバー経由接続(Q) ● SOCKS プロキシサーバー経由接続(S)	パスワード(Y): VPN Server 側のユーザーのパスワードを変更できます。 パスワードの変更(J)
プロキシサーバーの接続設定(2) サーバー証明書の検証オプション(E):	 通信の詳細設定(G): ✓ VPN Server との通信が切断された場合は再接続する(Z) 再接続回数(C): □ 再接続間隔(L): 15
信頼する証明機関の証明書の管理(<u>4</u>) 固有証明書の登録(<u>R</u>) 固有証明書の表示(<u>5</u>) 海続中の画面とエラー画面を非表示(<u>M</u>)	 ✓ 無限に再接続を試行する(常時接続)(J) TLS 1.0 を使用しない 高度な通信設定(N) 7を非表示(9) ○K キャンセル

<u>「開通のご案内」を用意します。</u>

[接続設定名]	[FL0] (エフエルオー) と入力(推奨値)
[ホスト名]	[接続設定情報]のホスト名の値
[ポート番号]	[接続設定情報]のポート番号の値
[仮想 HUB 名]	[接続設定情報]の仮想 HUB 名の値
[認証の種類]	[標準パスワード認証]を選択
[ユーザー名]	[接続設定情報]のユーザー名の値
[パスワード]	[接続設定情報]のパスワードの値

[経由するプロキシサーバーの設定]

<u>プロキシサーバーをご利用の場合、プロキシの種類を選択後、[プロキシサーバーの接続設定]を押下します。</u> 必要に応じて値を入力してください。

※ 確認方法 [インターネットのプロパティ]-[接続]-[LAN の設定]-[プロキシサーバー]

[OK]を押下します。

 SoftEther VPN クライアント接続 接続(C) 編集(E) 表示(V) 仮想 L 	マネージャ AN スマート	¬カード(S) ツール(I)	ヘレプ(圧)			
接続設定名	状態	接続先 VPN サーバー		仮想 HUB 名	仮想 LAN カード名	
🗐 新しい接続設定の作成						
FLO	77542	vpn1.kozukata.com	(直接 TCP/IP	9999XXXX	VPN	
仮想 LAN カード名		状態	MAC 7FUZ		バージョン	_
🗰 VPN Client Adapter - VPN		有効 (使用可能)	00-AC-E8-EB	-CD-D3	4.19.0.9594	
SoftEther VPN クライアント接続マネ	ージャ	📦 未接続		E SoftEt	ner VPN Client Build 965	56

接続設定名に[FL0]が表示されます。

[FL0]の右ボタンの[スタートアップ接続に設定]を選択します。

SoftEther	・VPN クライアント接続マネージャ	x
6	接続設定 "FLO" をスタートアップ接続に設定しました。	
	このアカウントは次回のコンピュータ起動時に自動的に接続されます。 (Windows をお使いの場合は、Windows の起動直後に接続が開始されます。 コーザーがログオンする前にバックグラウンドで接続されます。)	000 e 100
		_
	OK	

[OK]を押下します。

※注意事項

お申し込み接続クライアント数を超えてインストールする場合は、[スタートアップ接続に設定]を選択しな いでください。

接続先 VPN サーバー vpn1.kozukata.com	仮想 HUB 名 (值接 TCP/IP 99999XXXX	仮想 LAN カード名 VPN
vpn1.kozukata.com	(直接 TCP/IP 99999XXXX	VPN
vpn1.kozukata.com	(直接 TCP/IP 99999XXXX	VPN
状態	MAC 7FUZ	バージョン
有効 (使用可能)	00-AC-E8-EB-CD-D3	4.19.0.9594
	האט (שריים יישאני)	

[FL0]の右ボタンの[接続]を選択します。

[状態]に「<mark>オンライン</mark>」または「接続完了」が表示されます。 閉じる[×]を押下します。 タスクトレイのアイコン[**№**]が点滅します。

以上で設定は完了です。

⑥ 切断方法

タスクトレイのアイコン[🛂]の右ボタンで[VPN 接続を切断]を選択します。 [FL0]接続設定を選択します。

⑦ 切断後の開始方法

タスクトレイのアイコン[🔛]の右ボタンで[VPN 接続を開始]を選択します。 [FL0] 接続設定を選択します。

⑧ バックアップとログ

下記フォルダのログファイルを定期的に参照・削除してください。 ¥Program Files¥SoftEther VPN Client¥backup.vpn_client.config ¥Program Files¥SoftEther VPN Client¥client_log

Kozukata Networks Corporation

(2) USB メモリ インストール

① vpnclient-usb.exe のダウンロードと実行

USB メモリを選択し、インストールを開始します。終了後プログラムが起動します。

Pree Location Offic	e VPN		X
	Free Location Office VPN - USB を USB メモリにインストールしま 1. [参照ボタン] を押して USB メモリを選択してください。 2. [インストールボタン] を押してインストールを開始してくださ 3. インストールが終了するとプログラムが起動します。	Eす。 い。	*
	, インストール先(D) E¥ ▼ [進行状況	参照(<u>W</u>)	
		キャンセル	

〇 リムーバブルディスクの情報

○○ • コンピューター + リムーバブル ディスク (E:) +	 □ □ × ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
整理 ▼ 共有 ▼ 書き込む 新しいフォルダー	
★ お気に入り ダウンロード ■ デスクトップ ● Program Launcher.e Files xe	

O 「Launcher.exe」の実行

ログオンユーザーは Administrators グループに所属しているか、[別のユーザーとして実行]で Administrators グループに所属しているユーザーを選択してください。

O 接続手順

1. [設定]タブの[ホスト名][仮想 HUB 名][ユーザー名]を入力

※初回のみ

- 2. [接続]タブの[接続]ボタンで接続します。
- 3. [接続]タブの[切断]ボタンで切断します。

② 設定タブ

バージョン情報		
ホスト名	-	
仮想 HUB 名		
ユーザー名		
	🔲 ブロキシを使用	
ブロキシホスト名		
ポート番号		作成
接続設定の初期化		初期化
仮想 LAN カードのド	・ ライバのアップグレード	アップグレード
PacketiX VPN クラ-	イアント接続マネージャ	起動
	ホスト名 仮想 HUB 名 ユーザー名 プロキシホスト名 ボート番号 接続設定の初期化 仮想 LAN カードのト PacketiX VPN クライ	ホスト名 仮想 HUB 名 ユーザー名 プロキシホスト名 ボート番号 接続設定の初期化 仮想 LAN カードのドライバのアップグレード PacketiX VPN クライアント接続マネージャ

[- 設定 -]

接続設定を作成します。

[VPN 開通のご案内]を用意します。

[ホスト名]	[接続設定情報]のホスト名の値
[仮想 HUB 名]	[接続設定情報]の仮想 HUB 名の値
[ユーザー名]	[接続設定情報]のユーザー名の値
[プロキシを使用]	HTTP プロキシサーバー経由接続の場合チェック
[プロキシホスト名]	プロキシサーバーのホスト名
[ポート番号]	プロキシサーバーのポート番号
※ セキュリティを確保す	るため、入力した内容は表示されません。
接続設定の初期化	接続設定を初期化します。
仮想 LAN カードのドライバ	ぶのアップグレード
	仮想 LAN カードのドライバをアップグレードします。

PacketiX VPN クライアント接続マネージャ

PacketiX VPN クライアント接続マネージャを起動します。

3 接続タブ

接続 設定	目 パージョン情報		
	接続	🗌 接続後 最小化する。 🤇 ダイヤルア	ップ
		□ 切断後 仮想 LAN カードを削除する。	u=]
UE-F=	トレスの表示 し ントロール リモートする側	コンビュータの検索 Nagic Packet の送 リモートデスクトップ	接続
00	リモートされる	側「リモートの設定」「ファイアウォールの調	设定

[- VPN 通信 -]

[接続]

- 1.「VPN 用仮想 LAN カード」が作成されます。
- 2. 「ログイン」ウィンドウが表示されます。

- ユーザー情報の入力(<u>R</u>):	
アカウントの種類(工):	【標準パスワード認証 →
ユーザー名(<u>N</u>):	VPN001
パスワード(<u>P</u>):	
	☑ パスワードを保存しない(<u>D</u>)
し 入力が行われない場合、あ	2 55 秒後に自動的に再接続します

- 3.「ユーザー名」、「パスワード」を入力します。
- 4. [接続の中断]を選択した場合、[切断]後[接続]をします。

※注意事項

「パスワードを保存しない」のチェックを外しても、パスワードは保存されません。



[接続後 最小化する。]

接続後にフォームを最小化します。

[ダイヤルアップ]

ネットワーク接続が表示されます。

[切断]

ネットワークを切断します。

タスクトレイの常駐が解除されます。

[切断後 仮想 LAN カードを削除する。]

切断時に「仮想 LAN カード」を削除されます。

[IP アドレスの表示]

IP アドレスを表示します。

IP アドレスを表すウィンドウが表示されます。

[コンピュータの検索]

コンピュータを検索します。

[Magic Packet の送信]

Magic Packet を送信します。

「リモートコントロール ー]
 Windows の「リモートデスクトップ」を使用しリモートします。

 ・リモートする側
 「リモートデスクトップ接続]
 「リモートデスクトップ」を起動します。
 ・リモートされる側
 「リモートデスクトップ」の許可を設定します。
 「ファイアウォールの設定]
 「Windows ファイアウォール」の例外の許可を設定します。

④ バージョン情報タブ

バージョン情報	19 12	
Free Location	Office VPN Version 4.00	
Copyright (C)	2007-2019 Kozukata Networks C	Corporation. All Rights Reserved.
PacketiX VPN	l Version 4.20,0.9608	
Copyright (C)	2004-2016 SoftEther Corporation	n. All Rights Reserved.
3		

【2】 接続メッセージ・エラー

VPN サーバー vpn1. kozukata. com にログインするためのユーザー名とパスワードを入力してください。 また。正しいアカウントの種類が選択されていることを確認してください。

このメッセージは、VPN クライアントコンピュータが、 VPN サーバーコンピュータの仮想 HUB に接続する ためにユーザー認証を試行した結果、ユーザー認証に失敗した場合に発生します。多くの場合は、認証方法 の指定の誤りやユーザー名またはパスワードの入力ミス、証明書と秘密鍵の間違いなどです。もう一度認証 情報をよく確認してから再試行してください。

エラー1:

サーバーへの接続が失敗しました。ネットワーク接続や、接続先サーバーのアドレスやポート番号を確認し てください。

このエラーは、ユーザーが指定したサーバーの、ホスト名・IP アドレスおよびポート番号に対する接続が失 敗した場合に発生します。このエラーが発生した場合は、指定したサーバーのホスト名・IP アドレスおよび ポート番号が正しいかどうか、またコンピュータがネットワークに接続されているかどうかを確認してくだ さい。

エラー2:

プロトコルエラーが発生しました。接続先サーバーからエラーが返されました。

このエラーは、VPN サーバーコンピュータに対して VPN クライアントコンピュータが接続を試行した際に、 VPN サーバーからエラーが返された場合に表示されます。このエラーが表示された場合は、接続先のサーバ ーのホスト名または IP アドレスとポート番号上で、正しく VPN サーバーソフトウェアが動作しているかど うかを確認してください。また VPN サーバーソフトウェアまたは VPN クライアントソフトウェアのどちら かのバージョンが古い場合は、最新バージョンにアップデートしてみてください。

エラー8:

指定された仮想 HUB がサーバーに存在しません。

このエラーは、VPN クライアントコンピュータが、 VPN サーバーコンピュータに対して接続する際に指定し た仮想 HUB 名について、そのような名前の仮想 HUB が VPN サーバーコンピュータ上に存在しない場合に発 生します。 エラー16:

接続先のサーバーまたは仮想 HUB に接続しているセッション数が多すぎます。

このエラーは、VPN クライアントコンピュータが、 VPN サーバーコンピュータの仮想 HUB に接続しようと した場合に、その VPN サーバーコンピュータまたは仮想 HUB に設定されている最大同時接続セッション数 以上の VPN セッションが、その VPN サーバーまたは仮想 HUB にすでに接続されているため、新しいセッシ ョンを確立することができなかった場合に発生します。

【3】 ユーザー認証に必要なパスワードの変更方法

SoftEther VPN クライアント接続マネージャから変更します。

該当の[接続設定名]右ボタン → [プロパティ] → [ユーザー認証]グループボックス → [パスワードの変更]ボタンから変更します。

※注意事項

設定内容は次回接続時に適用されます。

- 1. [簡易ファイルの共有を使用する]が選択されている場合
 - ・共有したいフォルダを選択し[右ボタン]
 - ・[共有とセキュリティ]-[危険を承知した上で、~]-[ファイル共有を有効にする] にチェック-
 - ・[ネットワーク上でこのフォルダを共有する]-共有名-
 - [ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する]にチェック
- 2. [簡易ファイルの共有を使用する]が選択されていない場合
 - ・共有したいフォルダを選択し[右ボタン]
 - ・[共有とセキュリティ]-[共有タブ]-[このフォルダを共有する]-<ドライブの場合は[新しい共有]> 共有名-[アクセス許可]-Everyone-[変更][読み取り]にチェック
 - ・[セキュリティタブ]-Everyone-[変更][読み取りと実行][フォルダの内容の一覧表示][読み取り] [書き込み] にチェック
- ※ [簡易ファイルの共有を使用する]の確認方法

[ツール]-[フォルダオプション]-[表示]-[詳細設定]

※ 初期状態の[簡易ファイルの共有を使用する]が選択されている場合、このコンピュータへの共有アクセスは無効になっています。

- ※ 接続先コンピュータの共有フォルダへの3種類の接続方法
- 1. [スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[¥¥接続先コンピュータ名]-[0K]
- 2. [マイネットワーク]アイコンをクリック
- 3. [スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[¥接続先 IP アドレス]-[OK]
- ※ IP アドレスの確認方法

[スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[CMD]-[OK] C:¥>IPCONFIG<Enter>

※ 空パスワードでネットワーク経由アクセス不可

空のパスワードを設定してあるユーザーを使用し、 Windows XP Professional または Windows Server 2003 (以下、Windows) ヘネットワーク経由でアクセスを行った場合や、 リモート デスクトップを使用してログオンを行おうとした場合、アクセスやログオンが 拒否されます。 【5】 リモートデスクトップ接続の設定方法 (Windows XP)

- 1. 接続先コンピュータ(リモートされる側)の設定
 - [スタート]-[コントロールパネル]-[システム]-[リモートタブ]
 リモートデスクトップ
 [ダ]このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する。
 [リモートユーザーの選択]でユーザーを選択します。
 ※ Administrators グループであれば、ユーザーを選択する必要はありません。

 - ※ ユーザーは、このコンピュータに通常ログオンしているユーザーです。

※ Windows ファイアウォールの設定

[スタート]-[コントロールパネル]-[セキュリティセンター]-[Windows ファイアウォール] [例外タブ] [/]ファイルとプリンタの共有 [/]リモートデスクトップ

[OK] を押します。

※ 他の製品をご利用の場合は、製品マニュアルを参照してください。

※ 空パスワードでネットワーク経由アクセス不可

空のパスワードを設定してあるユーザーを使用し、ネットワーク経由でアクセスを行った場合や、 リモート デスクトップを使用してログオンを行おうとした場合、アクセスやログオンが 拒否されます。

2. 接続元コンピュータ<u>(リモートする側)</u>の設定

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[リモートデスクトップ接続] または

C: ¥WINDOWS¥SYSTEM32¥MSTSC. EXE

(ア)コンピュータ

コンピュータ: [接続先コンピュータ名]または[接続先 IP アドレス]

[オプション>>]を選択

[ローカルリソース]-[ローカルデバイス]

[〆] ディスクドライブ 「接続元コンピュータ名のドライブ名」が表示

[×]プリンタ 「(接続元コンピュータ名からの)プリンタ名」が表示

[接続]を押します。

(イ) Windows ログオン

ユーザー名:上記1.の[リモートユーザーの選択]で選択したユーザー

- パスワード:上記1.の[リモートユーザーの選択]で選択したユーザーのパスワード
- [OK]を押します。
- (ウ) Windows ログオフの方法

[スタート]-[ログオフ]-[ログオフ]

- (エ) Windows 切断の方法
 - [スタート]-[切断]-[切断]

- 【6】 リモートデスクトップ接続の設定方法 (Windows 7)
- 1. 接続先コンピューター<u>(リモートされる側)</u>の設定
- ①. [スタート]-[コントロール パネル]を選択します。
- ②. [システムとセキュリティ]を選択します。
- ③. [システム]を選択します。
- ④.「タスク」の[リモートの設定]をクリックします。
- ⑤.「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。
- ⑥.「システムのプロパティ」画面-「リモート」タブが表示されるので、[リモート デスクトップを実行しているコンピューターからの接続を許可する(セキュリティのレベルは低くなります)]を選択します。
- ⑦.「このコンピューターは、使用していないときは・・・」と表示された場合は、[電源オプション]をクリックし、コントロールパネルの「電源オプション」画面からスリープと休止状態の設定を「なし」にします。
- [OK]をクリックします。
- 2. Windows ファイアウォールの設定
- ①. [スタート]-[コントロール パネル]を選択します。
- [システムとセキュリティ]をクリックします。
- ③. [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]をクリックします。
- ④.「許可されたプログラムおよび機能」で、[ファイルとプリンタの共有]と[リモート デスクトップ]にチェックが付いていることを確認します。チェックが付いていない場合は、次の操作を行います。
- ④-1. [設定の変更]をクリックします。
- ④-2. [ファイルとプリンタの共有]の[ホーム/社内(プライベート)]、[パブリック]と[リモート デスクト ップ]の[ホーム/社内(プライベート)]、[パブリック]にチェックを付けて、[0K]をクリックします。
- ※ <u>空パスワードでネットワーク経由アクセス不可</u> 空のパスワードを設定してあるユーザーを使用し、ネットワーク経由でアクセスを行った場合や、 リモート デスクトップを使用してログオンを行おうとした場合、アクセスやログオンが 拒否されます。
- 3. 接続元コンピューター<u>(リモートする側)</u>の設定
- ①. [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[リモート デスクトップ接続]を選択します。
- 「リモート デスクトップ接続」画面が表示されるので、接続先コンピューター(リモートされる側)の コンピューター名(または IP アドレス)を入力し、[接続]をクリックします。
- ③.「Windows セキュリティ」画面が表示されるので、アカウント名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。
- ④.「このリモート コンピューターの ID を識別できません。接続しますか?」と表示された場合は、[はい]
 をクリックします。
- ⑤. ホスト PC(接続される側)への接続が完了すると、デスクトップ画面が表示されます。

【7】 リモートされる側のスクリーンセーバー、電源設定の設定

[画面のプロパティ]の設定		
[スクリーンセーバー]		
待ち時間	[10分]	例
[<mark>なし</mark>] パスワードによる保護		VNC サーバ利用の場合
[スクリーンセーバー]-[電源設定]		
 システムスタンバイ	[なし]	必須
システム休止状態	[なし]	必須

※ USB メモリ インストールの場合は、スクリーンセーバーとシステムスタンバイ・システム休止状態は無 視されます。

【8】 ネットワークアダプタのバインドの順序を低くする方法 (※ 変更する必要がある場合のみ)

- ①. [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。
- ②. [ネットワーク接続]をクリックします。
- 変更する VPN ネットワークアダプタを右クリックし、[プロパティ]をクリックし、[全般]タブをクリックします。
- ④. [この接続は次の項目を使用します]ボックスの一覧で、[インターネットプロトコル (TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- ⑤. [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ]ダイアログ ボックスの[全般]タブをクリックし、
 [詳細設定]をクリックします。
- ⑥. [IP 設定]タブで、[自動メトリック]チェックボックスをオフにし、[インターフェイスメトリック]ボックスに値「1000」を入力します。
- 【9】 使用ポート番号

1. 使用ポート番号について

・リモートデスクトップ	TCP: 3389
- VNC	TCP: 5900, TCP: 5800
• Radmin	TCP: 4899
• Magic Packet	UDP: 2304

- 【10】 ハードディスク インストールのアンインストール
- [コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]から、アンインストールします。
 [SoftEther VPN Client]を選択します。
- 2.設定データや書き出されたログファイルなどは、データの損失を防止するため自動的に削除されません。
 ・¥Program Files¥SoftEther VPN Client を削除します。
- 3. 仮想 LAN カードは、自動的に削除されません。
 Windows の [デバイスマネージャ] から削除します。